

除菌・消臭による殺菌効果試験(試験片に塗布した試験菌の生菌数を測定)

試験菌	区分	生菌数(試験片あたり)		
		開始時	5分後	10分後
大腸菌	検体噴霧	1.9×10^6	4.6×10^3	$< 10^2$
	対象 (検体未噴射)	1.9×10^6 (測定せず)	6.4×10^5
黄色ブドウ球菌	検体噴射	6.7×10^6	1.1×10^3	< 10
	対象 (検体未噴射)	6.7×10^6 (測定せず)	3.4×10^5

除菌・消臭による消臭効果試験(フラスコ法・バック法)

臭気ガス

アンモニア

試験方法

500mlガラス製三角フラスコに消臭剤2.5gを採取。アンモニアをマイクロピレットにより0.05ml採取、ガラス棒に付着させたフェルトに含浸し、フラスコに戻し密栓し室温下で放置。1時間後検知管によりフラスコ内部の濃度を測定。

試験結果

消臭剤	経過時間
	1.0hr
ブランク	約1200
除菌・消臭	32
市販品	380

単位 ppm

臭気ガス

硫化水素・メチルメルカプタン

試験方法

気体不透過性のテフロンコック付きバックに消臭剤2.5gを採取したシャーレを入れ密封脱気した後濃度調整した臭気ガス4.0ℓをコックより導入。室温下で放置し一定時間経過後、検知管によりバック内部の臭気ガス濃度を測定。

試験結果

(硫化水素)

消臭剤	経過時間			
	0.5hr	1.0hr	2.0hr	3.0hr
ブランク	132	132	132	132
除菌・消臭	28	9	0.3	ND
市販品	122	122	122	122

単位ppm ND:検出されず

(メチルメルカプタン)

消臭剤	経過時間		
	1.0hr	2.0hr	3.0hr
ブランク	1.2	1.2	1.2
除菌・消臭	trace	ND	—
市販品	1.1	1.1	1.1

単位ppm ND:検出されず trace:痕跡なし